


回—タリ——回メモ

**尼崎北ロータリークラブ**

**2007-2008 ~ 2008-2009 会員研修委員会**



# 目次

例会と出席	◇5
SAAとニコニコBOXについて	◇6
規程審議会	◇7
公式訪問	◇7
ロータリー財団について	◇8
ロータリー財団について(第2部)	◇9
国際協議会・会長エレクト研修セミナー・地区協議会	◇10
ロータリーの寛容について	◇11
国際奉仕	◇12
クラブ奉仕	◇13
クラブの組織表(クラブ・リーダーシップ・プラン)について	◇14
インターアクトクラブ・ローターアクトクラブ	
・ロータリー青少年指導者育成プログラム・プロバスクラブ	◇15
女性会員について	◇16
会員増強について	◇17
四つのテストに関連して	◇18
友好クラブについて	◇19
職業奉仕について	◇20
IMについて	◇21
ロータリークラブの会長・幹事について	◇22
ミリオンダラーマイル/ロータリーの徽章	◇23
米山記念奨学会について	◇24

研究グループ交換 / 青少年指導者育成 ②⑤

「奉仕の理想」について ②⑥

正しいロータリー用語 ②⑦

ロータリークラブとは ②⑧

ロータリーの定義 ②⑨

ファイヤーサイド・ミーティング

～「ロータリーとは」(親睦と奉仕) = (寛容) ③⑩

ロータリー創立記念例会スピーチ

～「心を受け継ぎ、心を伝える」(創立 30 周年記念事業を通して) ③⑪

ワタシの一口メモ～2008-2009 副委員長：一ノ瀬四郎 ③⑫

あとがき～「ロータリー一口メモを振り返って」 ③⑬



## < 例会と出席 >

ロータリーは利己と利他の調和を図る人生哲学と言われます。利己と利他の調和の会得を可能にするのが毎週開かれる例会です。

ロータリーの正式な会合は例会であり、例会はロータリーの精華です。毎週テーブルを囲んで異業種の会員と歓談し、職 $\times$ 業上の発想の交換や、卓話を通じて友愛と知識を広め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心を育み自分の職業に生かします。ロータリアンに定年はありません。生涯自己改善は続けられてゆきます。米山梅吉さんが「ロータリーの例会は人生の道場」と言われたように、お互いが切磋琢磨して自己研鑽に励むことが大事です。貴重な修練の場でありますため例会運営に当たる人はご苦労ながら、貴重な時間を割いて例会に出席する会員にそれに値する成果を与えるよう努力願いたい。会員もまた「入りて学び、出でて奉仕せよ」の言葉通り例会を通じて心を磨くという目的意識を持って参加して、会合が終われば夫々の職場や地域社会に戻って奉仕の心を実践に移さねばなりません。

例会に出席することは会員資格の重要な条件です。出席なくして友愛も奉仕もありません。

ガイ・ガンディガーは真のロータリアンは「常に電流の流れた電線」だと称しました。電流が流れたり止まったりすると電線は役に立ちません。毎週の例会にしっかりと出席して、例会で学んだ奉仕の理念を自分の職場に生かしてゆかねばなりません。

100%出席は全ロータリアンの目標であります。事業も安定し、健康にも恵まれて始めて達成できる目標です。44年間、皆出席を達成されている山岡、中馬両会員は実に偉大です。メーキャップはロータリアンに与えられた素晴らしい機会です。全世界のクラブに遠慮なく出席でき、日頃到底お会い出来ない人とも親しくお話できるあり難い機会です。メーキャップするときは出来る限り最後まで退席しないのが礼儀であります。

(西岡 健)

## < S A A とニコニコ B O X について >

S A A とは Sergeant-at-arms で武装した上級下士官のことです。英国の古い時代に領主や王様の大広間の隅で武装して「にらみ」をきかし会場の治安秩序を守るという習慣が米国に持ち込まれ、それがロータリーの中にも組み入れられた歴史的な存在です。

S A A は例会の準備、進行、秩序維持に配慮して例会の円滑な運営と例会を愉快的なものにする任務を持っています。例会中に起こる突発的事態に対応する必要から、プログラムを企画立案する理事会に席を持つことは望ましくないとされます。いわば S A A は速戦即決の単独決議機関です。このように S A A の職務は大変重要なため会長、幹事経験者が就任することも多いです。

次に S A A の仕事にニコニコ浄財を集め管理する任務があります。ニコニコ箱はあくまでも何か喜びごとがあったときに会員たちがそれを記念して社会奉仕の浄財をクラブに寄託するものであります。今は喜びごと以外のことで総てニコニコ箱に入れますが、或るクラブでは社会奉仕の浄財以外は「スマン B O X」として別な箱を用意しているところもあります。要するにニコニコはお金を出した人の気持ちを尊重してクラブ理事会が預かる預かり金であります。従ってクラブの財源ではなく、仮に通常会計が赤字になっても使うことは出来ません。またニコニコ財源の支出は当該会計年度には使わず 1 年遅れになってくるものです。

ニコニコ財源はその性格上、いささかなりとも強制的であってはなりません。「出したいときに、出したい金額を出す。」そして「出した人必ずしも尊からず、出さざる人必ずしも卑しからず」です。

(西岡 健)

## < 規程審議会 >

- \* 規程審議会とは：国際ロータリーの立法機関（3年毎に開催）
- \* 2007年提案数：337件（可決97件、否決152件、取り下げ88件）
- \* 日本提案数：17件（可決6件、否決8件、取り下げ3件）
- \* 主な採択内容：
  - 祝祭日の休会を認めることについて
  - メイキャップ期間（前後2週間）について
  - 相互参加型(Eクラブ)出席をメイキャップと認めることについて
  - 例会出席50%ルールについて
  - ”He/She profits most who serves best.”について
  - 財団学友・地域社会奉仕活動リーダーを  
正会員と認めることについて
- \* 2010年の規程審議会に向けて

（西岡 健）

## < 公式訪問 >

私たちは国際ロータリー(RI)の会員ではありません。尼崎北RCの会員です。RIの会員は各クラブです。ガバナーはRIの役員です。

公式訪問とは各クラブがRIの役員であるガバナーと公式に接触する年1回の大切な機会です。ガバナーは先ずクラブの代表権者の会長、幹事と会談をおこないます。ガバナーはあらかじめ聴取したクラブの実情にあわせて互いに問題点を提起して忌憚りの無い意見交換を行います。

次にガバナーは例会に出席してその年度の会長のテーマの解説や、その実施について激励を含めたスピーチを行います。

公式訪問はクラブに対しての査察とか監査ではありません。クラブ会長はこの機会を利用してその年度の成功への踏み台としなければなりません。

公式訪問は年度の前半期に実施されるのが大半です。

（西岡 健）

## < ロータリー財団について >

今月、来月と2回にわたってロータリー財団についての説明を致します。みなさん、お正月には子供さんや、お孫さんが来られて賑やかに過ごしたと思います。子供や孫が元気で幸せであったらおじいちゃん、おばあちゃん、両親も幸せです。みなさんの会社の従業員のほうが幸せであったら社長さんもやはり幸せです。すべての人の幸せを願い、祈る心がロータリーやロータリー財団の根底に流れる心です。「世界中のどこかの片隅に1人でも不幸な人がいる限り我々ロータリアンは永久に幸せになることは出来ない」と言ったR I会長がいました。ロータリークラブは決して寄付団体ではありませんが、この心は忘れてはならないのであって時としてロータリー財団への寄付は実践してゆかねばならないものであります。ロータリー財団は1917年、時の国際ロータリーの会長であったアーチ・クランフがアトランタの国際大会で「ロータリーが基金を作り世界的な規模で善意、教育その他の分野で何か良いことをしようではないか」と提案して誕生したものであります。従ってその使命は国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援するものです。米山奨学会制度の様に外国から日本へ来る奨学生を支援するのと違って、どこの国の若者が何処の国へ行っても奨学金を出します。ただ受取機関としてロータリークラブの存在が条件です。大体こういう財団制度は基金を集めてそれを運用して利息で事業を継続しますが、ロータリーにはそういう余裕がなく、基本元本は全世界のロータリアンということになっています。ですから我々はどうしても財団への寄付が必要になり、今期も会費と共に財団への普通寄付として2千円を集めています。またこんな話を聞いたことがあります。それは財団が誕生して皆が一生懸命寄付を集めていた。そこへ関東大震災が起こって大きな被害を受けました。何とか援助の手を差し伸べようと財団では折角集めた基金\$25,000を東京RCを通じて日本に寄付してくれました。そのため財団は基金がなく(\$7,000)が出来た1931年まで財団として認められませんでした。このときの恩義を考えたら日本のロータリアンは率先して寄付をしなければならないと思うのです。

(西岡 健)



## < ロータリー財団について（第2部） >

前回はロータリー財団がすべての人たちの幸せを願い、祈る心が基本と申しました。そして財団は国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援していると話しました。

国際ロータリーには二つの金庫があります。一つは世界中のロータリークラブの人頭分担金によって支えられている本会計の金庫です。もう一つは財団と共通の夢を抱くロータリアンの任意寄付によって支えられている金庫です。財団のお金はロータリアンの個人寄付がその大半を占めています。そのほか特別寄付、追悼寄付、法人各種団体の寄付です。こうして集められた資金は青少年交換学生、財団奨学生、財団研究グループ交換、3H運動（Health, Hunger, Humanity）、ポリオ・プラス、災害救助金、などに寄付されます。

財団の資金は財団管理委員会によって管理されますが、管理委員会はR I理事会と合同常任委員会を組織して緊密な連携を図り共通の関連事項の審議に当たっています。R I事務総長は財団の最高執行役員ですし、管理委員会には元R I会長4人が委員を勤めています。管理委員会は寄付された方に感謝の意を表明し表彰しています。最も有名なものがポール・ハリス・フェローで、米貨\$1,000を寄付すれば認定されます。そのほかベネファクターといって恒久基金に\$1,000寄付した人を表彰しています。

（西岡 健）

## < 国際協議会・会長エレクト研修セミナー・地区協議会 >

### 1. 国際協議会

国際協議会はロータリー中央役員、地区ガバナーノミニーを始め、理事会の指名する人が集まり、次期R I会長の方針説明(テーマの発表)及び地区ガバナーの研修が行われる。今年も1月13日~20日までの8日間アメリカ・サンディエゴにて開催される。宮本次期ガバナーも出席。

### 2. 会長エレクト研修セミナー(PETS)

会長エレクトが集まり次年度に向けたクラブ運営の準備並びにクラブ会長としての研修、次期宮本一ガバナーノミニーのR I会長テーマの説明、地区活動方針の発表等が行われる。

3月15日(土)神戸ポートピアホテルにて開催。三宅会長エレクト出席。

### 3. 地区協議会

地区内の次年度会長、幹事、その他のクラブ指導者が集まる会合でクラブ管理運営、活動について協議し、それらに関する知識を得る。全体会議、部門別会議に分けて行われる。協議会に先立って会合の準備のため、リーダー会議が行われる。リーダー会議4月5日(土)、地区協議会4月29日(祝)神戸ポートピアホテルにて開催される。

(西岡 健)

## < ロータリーの寛容について >

ポール・ハリスは「ロータリーとは何かと聞かれたら躊躇なくそれは「寛容」だ。友愛の精神により一人一人が手をつなぐことが大切で、その輪を広げてゆくことがよりよい社会を作る基となる。そこには親睦だけがあるのではなく、又奉仕だけがあるのでもありません。両者を調和させたところにあるのです。それが「寛容」なのです。」と言っている。これを聞いたときどうも抽象的でよく分らなかった。或るとき深川 P G は道元が弟子義介に「道を求めるおまえの志気（シイキ 個人の意気込み）は抜群だが、お前にはいまだ老婆心あらず」の話をされたことがある。老婆心すなわち「人を思いやる心」「相手の身になって考える心」です。ロータリアンは奉仕の心に燃えて抜群の志気があったとしても、それだけでは不十分で奉仕の実施に際して「老婆心ありや」と反省する心を忘れてはならないと言われた。さらにポール・ハリスも 1907 年頃から親睦一辺倒のシカゴクラブにおいて奉仕を提唱し始めたとき、奉仕を親睦よりも優位に考えたが故に、シカゴクラブの親睦を崩してしまったことがあります。奉仕を説くことが如何に正しくとも、そこにはやはり老婆心が必要でありました。この反省が彼をして「ロータリーは寛容の中に宿る」と言わしめたのです。と教えられ少し分かった気がしました。

（西岡 健）

## < 国際奉仕 >

ロータリーの綱領大四項に「奉仕の思想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」。これは、1921年にスコットランド・エジンバラの国際大会で発表され、翌年にロータリーの綱領に加えられました。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは「昨日まで、われわれのロータリーは子供でしたが、今日、強さと勢いと共に世界に踏み出します」と宣言しました。

国際奉仕活動の目的は、異国間のロータリアンの中に、また一般の人々の間に理解と善意を育む事とあります。実際にプロジェクトを実践してみますと宗教・政治・法律・生活習慣などなど理解に苦しむことが数多く出てきます。その後23-34の「実践」と併せ考える時、国際奉仕委員会の使命は理解されることでしょう。

ロータリーでは、各奉仕部門での実践が期待されています。特に、世界の現状をつぶさに眺め、人道的視野で実例を挙げ世界のロータリアンに訴えています。

ロータリアンの責務として挙げられるのは、まず地域社会での活動を定着させ職業奉仕を全うし地域をボーダーレスとして考え世界の国々を的視野の広い考えを作り出すべきであります。どんなに小さなテーマであっても何時かは岩をも穿つ大きなプロジェクトに発展するでしょう。現在、国際理解関連のプロジェクトには、ロータリー財団を中心にした青少年交換、R財団親善奨学生、GSEなどがあり、国際交流を通して国際理解と親善を経験することが重要です。また、重要なことは、人道的プログラム(WCS・3H)が推奨されていることです。

(2008-09年度RI第2680地区国際奉仕副委員長/大島秀夫氏の資料より抜粋)

(武本 正照)

## < クラブ奉仕 >

〔職業奉仕〕はロータリーという大樹の幹をなすものであり、〔社会奉仕〕〔国際奉仕〕〔青少年奉仕〕はその枝にあたります。さて、それならば〔クラブ奉仕〕は何にあたるかといいますと、「大樹の根」にあたるとでもいえましょうか。あらゆる栄養を吸収して幹や枝を育てる役目をもっているからです。その意味からロータリーにおける〔クラブ奉仕〕、大切な部門といわなければなりません。

各会員は何らかの形で各委員会に所属することになります。  
新会員は先ず親睦からスタートしてもらうことになります。

終局は各ロータリアンの目的は自分の職場、同業者、家庭、一般社会のあらゆる場において「奉仕」を実践することであり、その「奉仕の実践」の前に、まず「奉仕の心」を作ることがクラブ活動ということになります。

ロータリアンは毎週の例会に集まり、親睦のうちに相和し相互に心を通わせ互いに啓発し合い、その親睦のエネルギーを「奉仕の実践」に燃焼させるのです。その意味から、例会は勿論、あらゆる会合に何を措いても先ず出席することが大切なのです。

親睦はややもすれば親睦だけに終始します。それも大切ですが、クラブの親睦は「奉仕の心」を作り上げることにあるといえます。

このような観点から親睦と奉仕はウラ表の関係にあると言えます。  
このように考えてみると〔クラブ奉仕〕の特徴がはっきりしてまいります。その第一は〔クラブ奉仕〕がロータリー唯一の、団体的活動であるということです。

第2の特徴はロータリーが「話し合いの運動」だということです。

地域社会の代表的職業人が毎週1回の例会に集まり、その「話し合い」の中から何かを生み出そうとすることにより意義があります。

(武本 正照)

## <クラブの組織表(クラブ・リーダーシップ・プラン)について>

尼崎北 RC は一昨年からクラブ・リーダーシップ・プランを採用しています。このプランは個々のニーズに応用できる柔軟性を備えています。継続性を持っている事と、会員全員が積極的に参画できるシステムになっています。

先ずクラブの管理主体は勿論理事会にあります。理事は 11 名です。(幹事、会計の職権理事が 2 名含まれています。)会長、副会長(クラブ奉仕担当を兼任)、直前会長、会長エレクト、4 大奉仕常任委員会委員長、そして私たちのクラブでは会員組織常任委員長、親睦活動小委員長が理事です。

クラブ奉仕委員会、会員組織委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会が常任委員会で、クラブの活動の理念と実際の枠組みです。クラブ奉仕委員会の中に例会運営小委員会、親睦活動小委員会、広報委員会が含まれ、会員組織委員会には会員増強小委員会と会員研修小委員会が含まれています。社会奉仕委員会の中にプロバスを担当する高齢者小委員会、インターアクトクラブを担当する新世代小委員会が含まれています。又国際奉仕委員会の中にはロータリー財団小委員会と米山奨学会小委員会が含まれています。そのほかに、友好クラブ(篠山、台南東区、リッカートン)委員会があります。詳しくは組織表をご覧ください。創立 45 周年を向かえ、クラブ内部を新鮮な目で見つめ直し、より素晴らしいクラブづくりに全員が参加したいものです。

(西岡 健)

## <インターアクトクラブ・ローターアクトクラブ

### ・ロータリー青少年指導者育成プログラム・プロバスクラブ>

#### 1. インターアクトクラブ Interact club 新世代委員会

奉仕と国際理解に献身する若い人たち（14歳-18歳）のためにロータリー・クラブが提唱するクラブ。尼北クラブでは1983年、当時の中馬会長、村田幹事によって園田学園女子大学短期大学部の学生で組織され誕生した。今年25周年を迎える。

#### 2. ローターアクトクラブ Rotaract club

奉仕を志向する市民と指導者を育成するため、若年成人（18歳-30歳）を対象にロータリークラブが提唱するクラブ。社会人で地域社会に対する奉仕を通じて指導力を養成し、責任ある市民精神を育成するとともに国際理解と平和を促進することを目標とする。

#### 3. 青少年指導者育成（RYLA）Rotary Youth Leadership Awards

研修での経験を積ませることによって地域社会に存在する若い人の指導者としてまた善良な市民としての資質を伸ばし、個々の能力を開発することを目的にしたプログラムで14歳-30歳を対象としています。地区レベルで実施されており2680地区では小豆島の余島で行われている。2680地区のRYLAは日本的にアレンジされた独自のものでレベルも高く原則として大学教授が講師を勤めている。4日間の日程で先ず「良質な出会い」第2に「奉仕哲学の追及」第3に「奉仕の心の育成」を柱としている。精神的向上に重きを置き、思索の時間も設定している。またカウンセラー制度も導入し受講者と、きめ細かく接し心を打ち明けて話し合える環境を作っている。

今年の当地区RYLAは3月26日-29日までの4日間実施される。

今年は「いのち」がテーマで「人間とは何か。生きるとは何か」を考え討論する。講師は阿部志郎神奈川県社会福祉大学名誉学長、バイマーヤンジンチベットの声楽家、今井鎮雄PGであります。

#### 4. プロバスクラブ Probus Club 高齢者委員会

1960年代に英国で誕生したロータリークラブ支援の高齢者のクラブです。日本では1988年上郡PCを第1号とし現在97CLUBがあります。兵庫22CLUB。インターアクト、ローターアクトと違って最初はロータリーの全面的な支援を受けますが、3年~5年を目途にして自主独立して対等にお付き合いが出来るよう努力します。ロータリーとは離れず、近寄らずが理想とされています。尼崎プロバスクラブ琴寿会は1996年に尼北RCの提唱で誕生しました。

（西岡 健）

## < 女性会員について >

1991年、私がクラブ幹事の時、「ロータリーと女性会員」でパネルディスカッションをしました。女性会員入会賛成が澤山会員、反対が松本吉彦会員でした。澤山さんは1987年アメリカで女性会員を正会員に認めるか否かの裁判でRIが主張する否認が認められず敗訴になった例をあげて女性の社会進出が増え、女性の事業主の増加、女性しかいない職場の存在を考えると門戸開放が必要、特にロータリーが職業分類クラブということを考えても女性を排除する理由がないと訴えられました。松本会員は英国のクラブの例を挙げて家庭のゴタゴタを忘れてゆっくりとくつろげる場所としてクラブを考えれば女性がいらないほうが良いし、又女性が入会した後のクラブ内の親睦や奉仕の様子は今までと大いに変わってくると思う。女性だけのクラブもあると聞いているので男性だけのクラブも有っても良いと思う。こういう意見でした。皆さんどうでしょうか。みなさんは女性会員の入会についてはどういう風に考えておられますか。

現在2680地区ではすでに女性会員がいるというのが26クラブ、前向きに考えているが12クラブ、時期が来たら考えるが22クラブです。74クラブのうち59クラブが女性会員の入会を認める方向で考えています。入会を考えていないが12クラブ、自然の流れに任せるが1クラブ、無回答が2クラブです。

次に尼崎を考えますと6クラブ中、3クラブに女性会員がいます。西1人、南5人、中2人です。先般地区で会員増強のセミナーがあり女性会員の多い川西猪名川RCから今中先生、神戸垂水RCから吉川先生がパネラーとして意見を述べました。月信2号の4ページをご覧ください。私たちのクラブも増強に因んで考えるべき時期に来たと思います。

(西岡 健)



## < 会員増強について >

増強の増は会員の量を増やすことで、強は会員の質を高めることです。量か質かということはロータリーでよく問題になりますが、やはり量も質もともに大切であります。私は仕事の関係で参拝者を増やすことに一生懸命になった時期があります。しかし量の増大を求める余り返って参拝者の減少を招いた事があります。したがって今は副長を初め職員に参拝者を増やすことを考えず、今日来た人がまた参ろうと思うようにするにはどうしたらよいかを考えよと申しています。教会に魅力がなければ再び参りません。ロータリーも一緒だと思います。クラブに魅力が無くなりますと会員は減少します。増強委員会が一生懸命努力して入会者を増やしても、ロータリアンがロータリーの心を忘れてしまうと魅力がなくなり折角入会した人も去ってゆきます。ロータリアンの魂の強化、心を磨くことが一番大切であります。

ロータリーの第一義はやはり「心の開発」だと言われます。ロータリアンの内なる心の強化です。一人一人のロータリアンが心の豊かさを感じて始めてクラブの強化があり魅力があります。会員の教育が結局「増」につながり「強」につながるのです。

一業種一会員制が多会員制に移ってきたことがどういうことになるのかはお互いに考えてみたいですね。

(西岡 健)

## < 四つのテストに関連して >

出雲大社の大駐車場入り口に大社 RC が畳 2 枚位の大きさの看板に「四つのテスト」を書いています。「真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか」。これはハーバート・テイラーが 1932 年に倒産したアルミ食器会社の再建を引き受けたときに考えられたものです。これは深川 PDG から教わった話ですが、「人を泣かせてその上に自分の幸せを築くな」という事で、難しくは「利益の適正分配の原則」と言っておられました。

テイラーは或るとき、印刷会社と契約を交わしました。ところが印刷業者は会社に帰ってから自分の計算違いでこの契約は大変損をすることに気づきました。いまさら契約のやり直しを申し込むことも出来ないし、さりとしてみすみす損をすることが分かっている真面目に仕事ができる自信もありませんでした。そこで断られることを承知で損をしない程度に契約のやり直しを申し入れました。テイラーはこれを聞いて気の毒だが私 1 人で決められないので取締役会に出して返答をすと言いました。

取締役会では「会社は 1 銭も値切らないで業者の言うとおりに契約をした、相手も納得して契約したのだから、いまさら計算違いであったということなどこちらの知ったことではない」というのが大勢でした。そのときテイラーは「我々は四つのテストを誓いあっているではないか。この契約で真実とは何か、契約どおりなら相手が損をすることが分かっている、これが公平といえるだろうか、好意と友情を深めることになるか、そして皆のためになるかという論法で取締役会を説得して損をしない程度の契約更改をしたというのです。これが口コミで業界に伝わり信用を確立することになったという話です。

(西岡 健)

## < 友好クラブについて >

尼崎北 RC は三つのクラブと姉妹提携を結んでいます。

古い順番で申しますと先ず、台南東區 RC です。1968-69 年度で吉竹さんが副幹事的时候です。クラブ創立 5 周年記念として提携されたものです。今年 40 年を迎えました。相互に訪問しています。台湾に参りますと本当に心から迎えていただいています。先日、26 人の会員、家族が私たちの 45 周年に来て下さいました。12 月 6 日には三宅会長ご一行が台湾を訪問します。

次に篠山 RC です。1979-80 年度で澤山会長、小西幹事の時に提携されました。来年 30 周年を迎えます。マツタケを楽しみにしながらお邪魔したものです。毎年年度初めには会長、幹事、永代委員長が相互に表敬訪問します。篠山は森田さん、尼北は猿丸さんが夫々永代委員長です。友好の歌を練習してお互いに歌います。台南東區とともに多くの会員に参加をして戴きたいです。

次にリッカートン RC です。1986-87 年度、内藤会長のときに提携され 2011 年には 25 周年を迎えます。遠いので余り深い関係はありませんが、Eメール交換やマンスリー、クリスマスカード等の送付を行っています。

(一ノ瀬 四郎)

## < 職業奉仕について >

私の知識も以前、深川 PG に教わったもので、「うけうり」の範囲を超えるものではありません。

職業奉仕という言葉はロータリーの専門用語です。他では使っていません。もともと職業は私たちの生活の手段、金儲けの手段で打算の世界に属します。それに対して奉仕は世のため、人のためのもの、自分以外の人のために何かをすることです。自分のためのものである職業が何故人のためのものになるか。ロータリーは職業を営む心も世のため人のために奉仕する心も同じ一つの心。世のため人のために奉仕する心を持って職業に当たるべし、と説くのです。利潤追求を考えるエネルギーと世のため、人のためを考えるエネルギーは、向かっている方向は異なるが、その行動を起こす心は一つです。打算の世界から考えたら損なことでも、親子や夫婦の愛情の世界では損と考えることはありません。例えば妻のお金を夫に貸して返済されなくとも訴えたりしません。愛情の世界の考え方で打算の世界をコントロールする、これが職業奉仕の基本原理です。商品と代金を交換すると同時に満足と感謝を交換する、ということです。今年度、三宅会長が公式訪問報告書に大連クラブ宣言や、決議 23-34 を再び挿入されたのも、この辺りのことを再度勉強したいとの現われだと思えます。職業奉仕についてはあらためてお話し合いをしたいと思えます。

(西岡 健)

## < I M について >

I Mは Intercity Meeting の略語です。以前は ICGF とか IGF と呼んでいました。( Intercity General Forrum ) 都市連合フォーラムと訳されていました。分区単位のフォーラムでした。それがいつしか I M と呼ばれるようになりましたが、実態はフォーラムであります。フォーラムとは何かと大久保久能会員に聞きましたら、昔ギリシャで小さな囲いの中でお互いが意見交換をしたことが発祥だと言われました。今はフォーラムのない I M もありますが実際はフォーラムの要素がなければならぬと教わったことがあります。ロータリアンの心を磨く、自己研鑽の契機となるものでなければならぬ、ということです。先日の 6 R C 合同例会で今年の I M 実行委員長の榎泉さんが「私が 20 数年ロータリークラブを階出席したのは入会当初の I M に出席したときに大変心を打たれたこと、又素晴らしいロータリアンとの出会いがあったためです」と言っていました。何れにしてもロータリアンお互いが自己研鑽をして心を磨く I M でありたいと思います。尼崎 6 R C が順番にホストを引き受けるものですから、お互いと言う気持ちで全員登録になっています。全員登録にはいささか問題を感じます。例えば病気の人にも又、どうしても仕事の関係で出席できない人にも登録料を戴くのは申し訳なく思います。お互いですからやむを得ないのでしょうか。事情が許せば出来る限り、I M や地区大会には出席したいものです。

(西岡 健)

## < ロータリークラブの会長・幹事について >

ロータリークラブでは会長、幹事が代表権を持っていますが、会長の代表権は法律的な代表権でなく、むしろ日本国憲法の天皇のような存在です。国際ロータリーの窓口としての代表権、また他のクラブとのお付き合い上、クラブの代表者となったり、地域社会に対して代表権らしいものを行いますが、これらはいくまで法的な意味での代表権ではありません。現に会長には何の決定権もありません。持ってないから光るのかもしれませんが。実権は総理大臣にあたるクラブ幹事です。会長はアドバルンを上げて皆にやる気を起させることだと言われます。会長はクラブ管理のすべてのことを知って、そして知らん顔をする。会長が何でも知ったかぶりをするクラブは育たないと言われます。逆に幹事は知らないことでも知ったかぶりをしなければならぬことがあります。会長は理事会の議長ですが、理事会の多数決に拘束されています。いわば会長はロータリー存在の根拠を主張する役職です、帝王学の実践者と言われます。二頭馬車論と言われるように、会長、幹事は互いに助け合ってクラブ管理に努めねばなりません。これとあわせて、クラブの管理主体はクラブ理事会であることを忘れてはなりません。理事会の決定は最終的なものです。

(西岡 健)

## < ミリオンダラーミール/ロータリーの徽章 >

### 1 . 百万ドルの食事 ( Million Dollars Meal )

例会の食事を粗食にする日を定め、それによって得られる節約額を社会奉仕、ロータリー財団への資金に繰り入れること、ユーモアをこめて百万ドルの食事という。尼北RCは年6回偶数月第一例会がミリオンダラーミールである。

### 2 . ロータリーの徽章

RI公式徽章は6本の軸と24本の輪歯及び一つの穴のある歯車である。エンブレムと訳されているが通常バッジと言っている。改造、修正したり、所定の形以外のものを複製してはならない。二色で印刷される場合は、ロイヤルブルーと金色のみで印刷しなければならない。又、Rotary, Internationalの文字は金色を使用する。商業上の目的や個人の便箋に使用することは出来ない。ロータリークラブの役職の名刺にマークを印刷する場合は年度を入れる。

(西岡 健)

## < 米山記念奨学会について >

米山記念奨学会は自己犠牲をもって世のため、人のために尽くし生涯を閉じた日本ロータリーの創始者、偉大なる指導者、米山梅吉氏の遺徳を偲んで 1953 年創立された奨学金制度である。主としてアジアの諸国から日本に来て勉強する留学生（博士課程、修士課程）に支給している。

この制度の大きな特色は奨学生一人一人にロータリアンのカウンセラーが付いていることである。また奨学金もクラブ例会に招いて直接本人に手渡しています。

留学生は帰国後、母国のためにロータリーの心を思い起こし母国発展のために尽力されることを期待している。

青少年をお預かりし、育てることは金銭に換えられないものをお預かりし、育てることでロータリー運動の中で大変重要な部分を占めている。したがってカウンセラーは決して自分の主張を相手に押し付けるのでなしに、「社会で活躍しておられる立派なロータリアンにじっくりと自分の話を聞いてもらった」といわれるように相手の話をしっかり聞いてどんなお手伝いができるかを考えるのである。

こういう素晴らしい活動に協賛され、米山功労者として（2008-09 年度）感謝状を戴かれた辻井会員、苅田会員に拍手を送りたい。

（西岡 健）



## < 研究グループ交換 / 青少年指導者育成 >

### \* 研究グループ交換 ( G . S . E ) Group Study Exchange

ロータリー財団教育的プログラムの一つで異なる国に属する二つの地区で研究グループを相互交換して社会的な勉強をさせると共に国際交流と親睦の実を挙げようとする制度である。5名の青年社会人(25歳-40歳)とガバナー代理として相手国に精通したロータリアン1人をリーダーとして加えた6人のチームで構成される。

### \* 青少年指導者育成 ( R Y L A ) Rotary Youth Leadership Awards

研修での経験を積ませることによって地域社会に存在する若い人の指導者としてまた善良な市民としての資質を伸ばし、個々の能力を開発することを目的にしたプログラム。2680地区のR Y L Aは小豆島の余島で行われているが、日本的にアレンジした独自のものである。セミナーはレベルが高く原則として大学教授が講師になっている。精神的向上に重きを置き思索の時間も設定しているし、またカウンセラー制度も導入し受講者と、きめ細かく接し心を打ち明けて話し合える環境を作っている。

(西岡 健)

## < 「奉仕の理想」について (The Ideal of Service) >

ロータリーの綱領には「奉仕の理想」を鼓舞し、とか適用するという言葉が出てきます。「奉仕の理想」という歌もあり大事な集いには必ず歌います。奉仕という言葉は Service という英語の日本語訳でしょうが、日本人の持つ奉仕とかサービスという概念とは幾分異なると思います。「奉仕」というのは無料で世のため、人のために何かをすることと考えられているし、またサービスは「あそこはサービスが悪い」とか、「これサービスしておく」というように対応の善し悪しや、おまけのような印象の言葉として受け取っています。従ってロータリーで使う言葉の意味からはかなり離れた感じであります。ですから「奉仕の理想」とは一体どういう意味かとなってきます。

私が入会当初、先輩ロータリアンに「奉仕の理想」とはどういう意味ですかとたずねたとき、「之は言葉で説明するよりは自ずと自分で体験して体で理解するものです。例会に休まず出席していたら自然と分かります。」と言われました。どうも納得できませんでしたが、今から考えたら成る程そうだなと思います。人生の道場だと言われる例会に出席し、食事を共にして和やかな中に異業種の会員の発想の違った意見を聞く、会長の時間の話、卓話にも耳を傾け、切磋琢磨して自己研鑽をする。充実した気分で例会場を後にして職場に戻る。そして自分の職業を通じて世のため、人のためを考える。ロータリーで言う奉仕は、心の過程のことだと言われます。「奉仕とは奉仕すべき人と物とを行動に結びつける心の状態のことである」。従って、「奉仕の理想」については手続要覧にも規定がありません。ロータリー通解（ガイ、ガンデイガー）や「決議 23 - 34」を読んで把握してゆかねばなりません。深川 P G の説明では「職業を営む心も、世のため人のために奉仕する心も同じ一つの心、世のため人のために奉仕する心を持って職業に当るべし。いわば愛情の世界の考え方で打算の世界をコントロールする」と説かれています。金銭と商品を交換すると共に感謝と満足をも交換する。之がロータリーで言う商いであります。「売る人も、買う人も、喜ぶと見れば、売り買うものは誠なりけり」これが「奉仕の理想」の心でしょう。2008-2009 年度の職業セミナーで安平 P G が講演された冊子を戴かれたと思いますが、非常に分かりやすく解説してありまして「奉仕の理想」とは何かということにも的確に触れておられます。是非一読下さい。

(西岡 健)

## < 正しいロータリー用語 >

### 1、国際ロータリー (Rotary International)

この言葉は誰でも使っていますが、時々国際ロータリークラブといった間違った使い方をする人がいます。ロータリークラブは個々のクラブだけ。それらのクラブが所属しているのが国際ロータリーです。従って国際ロータリー ( R I ) の会員は各クラブです。私たちはロータリークラブの会員です。

### 2、国際ロータリーのテーマ (Rotary International Theme)

これは R I 会長が決め、会長が発表しますので R I 会長のテーマと思う人が多いですが、正式には国際ロータリーのテーマです。 R I テーマともいいます。

### 3、メイクアップ (make-up)

出席補填のことですが、文字にした場合 (メイキャップ) とされますが、メイクアップというのが正しいといわれます。

(西岡 健)

## < ロータリークラブとは >

ロータリークラブとは奉仕の実践をする個々のロータリアンを育てるところである。ロータリアンが奉仕するのであってクラブは原則として奉仕しない。「あくまで奉仕するロータリアンを育てる場所であります。」

ロータリアンは自分を磨こうと思えば、たとえ一言も話さなくともその一挙手、一投足にも何か学ぶところがあります。ロータリークラブは会員相互の発想の交換の「学び合う」場として重要な役割を果たしています。

発想の交換は命令服従の上下関係の支配する縦社会の原理でなく、リベラルなクラブ制度に根ざした会員の対等平等が保障された優れた横社会の原理である。「学び合う」がゆえに例会は人生の道場なのです。

(西岡 健)

## < ロータリーの定義 >

多くのメンバーの要望に基づき RI の理事会は 1976 年ロータリーの定義を次の通り決定しました。

「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業に於いて高度の道徳的水準を守ることを奨励し且つ世界に於ける親善と平和の確立に寄与する事を目指した事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」

ロータリーは何かと聞かれたときはこのように回答してください。

(一ノ瀬四郎)

## 【ファイヤーサイド・ミーティング】

< 「ロータリーとは」(親睦と奉仕) = (寛容) >

### 綱領 (ロータリーの目指すもの、目的)

- 1、知り合いを広めて親睦を計ること
- 2、すべて有益な職業は尊重されるべきでロータリアンは自分の職業を通じ社会に奉仕する。
- 3、ロータリアンは個人生活、職業生活、社会生活に奉仕の実践をする。
- 4、国際間の協調、親善、平和を推進する。

要は知り合いを広げ親睦を計ると共にあらゆる処で奉仕すると言うことです。ポール・ハリスは「ロータリーとは何か」と聞かれたら私は躊躇なくそれは「寛容」だと言っている。「友愛の精神により一人一人が手をつなぐことが大切で、その輪を広げてゆくことがより良い社会を作る基となる。そこには「親睦」だけがあるのではなく、又「奉仕」だけがあるのでもありません。両者を調和させたところにあるのです。それが「寛容」なのです。」と言っている。

行動だ、実践だ、と言う前にその心を作ることに最重点をおいています。奉仕の心を耕し、夫々手造りの味を作る、そうして家庭に、職場に、社会に奉仕の心を適用してゆく。一人一人の手のぬくもりが世の中に希望を与える。その実践の仕方はロータリアン個人の問題です。

ロータリーの奉仕は困った人の家の前に求めている物を置いてくると言った即物的な奉仕でもなければ、団体として何処かに何かを寄付することでもありません。非常に精神的、非営利的です。然し結果として充分出来上がった心を基盤として行われる奉仕の数々には具体的に素晴らしいものがあります。

### 職業奉仕について

ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にある。

ロータリークラブはロータリアンに奉仕の心を育て、世の中に倫理を提唱してゆくべき使命をもった団体といえる。

ロータリーは職業を営む心も奉仕をする心も共に同じ一つの心であると説く。

利潤追求のエネルギーと世のため人のために奉仕するエネルギーはその向っている方向は異なるが、その行動を起こす基となる心は一つです。

世のため人のために奉仕する心を持って職業を営むべし。他人を生かしてこそ自分の生きる道がある。相手の身になって考える、思いやりの心。

職業奉仕の大前提として例会出席がある。 企業経営上の知恵の交換、アイデアの交換、会長の時間、卓話で自己研鑽、切磋琢磨して友愛と知識を広め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心を育み、例会場を出るときは心の満足を持って自分の職業を通じて奉仕するのです。

## 次に「奉仕の実践に関する決議 34 号」

ロータリーの思想体系を整理したドキュメントでロータリアンの心の支え。

23-34 を読まずしてロータリーを語るなどといわれる。異質なものの調和に先輩たちは努力した（親睦と奉仕）（利己と利他）（宗教と倫理）

### 1、ロータリーと呼ばれる思想の実態

ロータリーとは「自分のために益せんとする願望と他人に奉仕せんとする義務意識との間に絶えず生ずる葛藤を調和せしめんとする人生の哲学のことを言う。この哲学こそ「超我の奉仕」Service above self. であり、そして「奉仕に徹する者に最大の利益あり」He(She) profits most who service best. という実践倫理原則をその根底におくものである。（二つの標語）

簡単に言えばロータリーとは「利己」と「利他」の調和を図る人生の哲学だ。

### 2、ロータリークラブとは

ロータリークラブとはこの奉仕哲学を信奉する代表的職業人のグループである。そして利己と利他の調和を図る場所が毎週のクラブ例会です。個人奉仕。毎週テーブルを囲んで異業種の会員と歓談し、親睦の中に職業上の発想を交換し、又会長の時間や卓話の時間に耳を傾け、友愛と知識を広め自己研鑽を行いその結果として奉仕の心を育み自分の職業に生かします。ロータリーの例会は人生の道場と言われるようにお互いが切磋琢磨いたします。だから例会に来た時は「入りて学び、出でて奉仕せよ」の言葉どおり、心を磨くという目標意識を持って参加し、終われば夫々の職場や地域社会で奉仕の心を実践に移さねばなりません。例会に出席することが会員の重要な条件になります。出席なくて「友愛」も「奉仕」もありません。自分のクラブの例会に出られない時は他クラブにメーキャップして心から迎えてくれる又違った友との親交を深めるべきです。ロータリアンは自分の事業の繁栄を考えると共に自分の属する業界全体の繁栄

も考え、地域社会の繁栄も考えねばなりません。

3、国際ロータリーとは 理念の提唱 拡大 情報媒介

4、ロータリーの奉仕とは 精神と実践の調和

5、ロータリークラブと国際ロータリー クラブに絶対的自主権

6、クラブが団体的、金銭的プログラムを企画、立案、実践する時の注意

- (ア) 地域社会のニーズを調べる。
- (イ) 団体を援助する。
- (ウ) クラブの財源を圧迫するような企画はしない。
- (エ) クラブが管理権を持たない。
- (オ) 宣伝広報を目的とする奉仕はしない。  
ロータリー精神を広めるための適正な広報に努める。

(西岡 健)



## 【ロータリー創立記念例会スピーチ】

### 「心を受け継ぎ、心を伝える」 (創立 30 周年記念事業を通して)

尼北 R C 創立 30 周年の記念事業を通して尼北 R C の創立からの心を受け継ぎ学び、後輩に伝えてゆきたいと思います。

出雲では「おもやい」という言葉を使います。船が岸から離れてゆかないようにしっかりと結ぶ「もやい結び」から来た言葉だと思いますが、複数の人が仲良く、心一つにしっかりと結ばれて一つのことに当たることを「おもやい」と言っております。創立 30 周年の記念事業は正にこの「おもやいの心」で成功したと思っています。委員長さん、副委員長さんが与えられた作業に一つ心で取り組み、会社の従業員の方の応援を得ながらも精一杯努めておられたことが強く印象に残っています。成果が充分上がったかどうかの結果は他人が評価することで自分たちは精一杯尽くすことに意味があるのだとの北クラブの心を強く学ばせて戴きました。今は亡き川口会長、澤井実行委員長でした。

先日、宮本さんが幹事するとき「君の好きなようにやってくれ責任はすべて私が取るから」と会長から言われた話をしておられました。この風潮は北クラブの特色だと思います。澤井実行委員長も私に「西岡君、私は単細胞で抜けているところが多いので君の好きなように思い切ってやってくれ」と言われました。澤井さんは大変緻密な頭脳の持ち主であります。私にやる気を起こさせようという心遣いであったと思っています。私も自分のところでこれと同じ事を職員に言います。然し中々思うようにやってくれない、途中で細かな報告もしないイライラすることがあります。任せた以上余り口出しは良くないと思ひたすら待っています。「任せることは待つことである」と考えます。澤井さんも同じ心境であったと思いますが決して小言は言われませんでした。上に立つものの心構えを教わった感じでした。

次にもう一つ心を打ちましたことは、登録者受付の場所でチャーターメンバーである内藤 P G がお客さんに自ら記章を胸に着けてあげ、ようこそお越し下さいましたとお礼を言っておられた姿です。私たちがしなければならないことを P G が率先されたことにお客さんも感激して、内藤さんだけでなく北クラブの全会員に暖かさを感じたと言っておられました。チャーターメンバーの率先実行は幾つか例があり私の心を打っております。新会員研修会に殆ど出席されること、会員の務めだといっておられる姿に感心して学ばせて戴いています。又、出席免除の制度があるが、これを使うことは決して悪くはないが私は絶対使わないと思っています。出席するところにロータリーの最も大事な義務があるのだから病気等でどうしても長く休まなければならない場合を除いてこの制度を使わないように自分に言って聞かせています、といわれるチャーターメンバーがいます。この言葉はしっかりと心に留めたいと思います。

も一つ 30 周年で印象に残っていることは、当日の登録数が 380 名でした。さて何人出席してくれるか、何人分の料理を用意したらよいかですが、私は 300 名

も準備したら充分と考えていましたが、澤井さんや平井さんは 340 名準備することで意見が一致していました。私は残ったらもったいないと考えていましたが 340 名出席して戴きました。お二人のひらめきに感服しました。精一杯の気持ちで取り組んでいたらこういう驚くべき「ひらめき」があるのだと感心しました。幾つもの素晴らしい経験は今もって大事にしています。こういう心を北クラブの誇りとしていついつまでも残し続けたいものです。

さて次にこれからのクラブ運営についてお願いしたいことがあります。私たちは高齢者の増加に伴い「高齢者により豊かな人生を送って頂くため」プロバスクラブを作りました。2680 地区にはすでに 20 のクラブがありますが今年中に 3 つ増えて 23 になります。どのクラブも素晴らしく立派な活動をしておられます。尼崎プロバスクラブが創立された時、尼北 R C から 5 人の会員がプロバスにも籍を置きました。3 人は亡くなられ、1 人は R C を止められ、今両方の会員になっているのは私 1 人です。どちらか止めねばならなくなったらお前はどうかする？と言われたら、良くして頂いているプロバスには悪いですけど私はロータリーに残ります。会費はプロバスの 10 倍近く高いですけどそれでも私は R C を選びます。何故かと言うと、尼崎 P C が創立された時私は尼北 R C の会長でありました。その後も地区のプロバス小委員長を 4 年務め他の P C の会長、幹事さんとも心安くお付き合いをしています。ですからどうしても尼崎 P C では私はお客さんとして扱われている感じですし、私も R C と違ってどうしても何か構えてしまう感じなのです。ところが尼北 R C では皆とお会いしてお互いににっこりと笑うと心の安らぎと言うか、癒しを感じるのです。心の満足を感じてこの年ですけど頑張ろうという気持ちになります。例会が楽しみです。P C が出来た当初は年取ったらプロバスに行ったらよいか、プロバスに力を入れたら R C の人数が減るとか言われたものですけど、そんなものではありません。ここをご理解戴きたいのです。今尼北 R C は会員 45 名中、40 代 11 名、50 代 12 名、60 代 13 名、70 代 5 名、80 代 4 名です。3 年程したら人数構成が 80 代 5 名、70 代 12 名と尼北 R C にも高齢化が進みます。したがって高齢者に優しく楽しいクラブ作りをお願いしたいことと、40 代の若き有望な人を会員に迎える事です。人は現在でなく、将来性です。「来たれ 有望なる 若者よ」「育てよう若きロータリアンを」良質とは何か。時間の余裕を作って各種会合に出席できる人だ。出席する人は必ず素晴らしいロータリアンとなるであろう。

(西岡 健)

「イタリア人から教わった一言」

イタリア人は陽気ですが保守的な国民性です。その中へ入り込む為には、相手のプライドを重んじ、気配りが大切です。

イタリア人は大勢で飲食することを好みます。ビジネス目的の為には気前良く接待することが不可欠です。日本商社の駐在員でお客様や代理店を接待しないのが重なり取引もできなくなった人が居りました。イタリア人仲間では彼の事を「腕が短い」すなわち財布に手が届かないケチ野郎と烙印を張られたことになります。婉曲に表現するところがイタリアかと思いました。

「 煤掃き 」

正月の準備をする年末の大掃除は、神棚やかまどなど神が宿るとされた場所をきれいにする意味でみそぎや穢れをはらう意味も込められていました。

京都東西本願寺では、毎年12月20日に僧侶が煤竹で畳をたたき、後ろから大ウチワで1年の煤を払う行事が師走の風物詩になっています。

私共の心の中、組織の中にたまった煤を年末に思いきって掃除できればどれだけさっぱりするか考えてみませんか。

「 什の教え 」

先日、目を通した雑誌に「什の教え」がありました。江戸時代、教育熱心な会津藩が行っていた3才~9才の児童対象の人間教育であります。什とは中国軍隊で昔行われていた10人の小隊のことです。ロータリー用語なら7つのテストに相当するテーマがありました。

- 1、年長者の言うことは聞かねばなりませぬ。
- 1、年長者にはお辞儀をしなければなりませぬ。
- 1、虚言を言ってはなりませぬ。
- 1、卑怯な振る舞いをしてはなりませぬ。
- 1、弱いものをいじめてはなりませぬ。
- 1、戸外でものを食べてはなりませぬ。
- 1、戸外で婦人と話をしてはなりませぬ。

ならぬことはならぬものです。

いじめやうそつきなど子供の頃に直しておかないと、大人になってからでは

手遅れです。長幼の序、上下の礼儀、敬語の使い方を知らない若者が多すぎます。

大阪府の知事さんは教育に熱心らしいです。関西のロータリアンは応援すべきと思います。

#### <ポルトガル、ブラジル、日本>

昨年6月、仕事でブラジルに出張しました。2008年は日本移民150年記念で様々な行事が行われました。150万人の日系人が各階層で頑張っています。日系人の評価は極めて高く、現地で仕事をしてみて日本人が活躍できる雰囲気は何となく感じることができました。他方、32万人のブラジル人が滞日しています。言葉は通じませんが両国には何か通じあう心があるのではないかと思います。ブラジルは南米唯一のポルトガル語圏です。ポルトガル人の性格は穏やかで勤勉、隣のスペインとは全くことなります。性格は控えめ、魚を食べるところも日本人に似ています。ブラジル、東チモール、アンゴラ、マカオ、モザンビークなどの植民地を全て手放し言語を残しました。ポルトガル時代の植民地政策も穏健で現地人との混血をすすめた結果、ブラジル人口1.8億の40%がポルトガル人との混血です。種子島で我国に鉄砲を紹介したのが1543年、日本の歴史を変える契機になりました。17世紀以降、欧州列強の影に隠れ国際社会では華々しいプレゼンスはありませんが欧州大陸の西端にこのようなのどかで住み易い国があることを皆さん是非体験してください。

#### <葛飾北斎について>

先日入手した雑誌に今年は北斎没後160周年ということで彼の偉業を称えた記事が載っていましたので紹介いたします。

北斎は1849年4月、浅草で没しました。享年88歳。木版彫刻家から画家に転進した北斎は当時主流の狩野、土佐派を越える独自の画風を確立しました。また、奇人でも有名で、93回も引越をし、画号を30回も改めました。作品数は3万点を超え、富岳三十六景や諸国名橋奇観などはゴッホやドガに影響を与えたとされています。

辞世の句にも彼の人となりが見られます。

「人だまでゆく気さんじゃ夏の原」

(夏の原野を人魂になって気晴らしに飛んでゆく)

猿丸会員が北斎の作品を所有しています。興味のある方はぜひご覧下さい。

## 【あしがき】

### 「ロータリー—口メモを振り返って」

一昨年久保会長のときに会員研修委員長になりましたので今まで20年ほどのロータリーの歩みを振り返る良い機会を与えられたと思いました。色々考えているうちに以前一度やったことがあるロータリー—口メモを再度やってみたいと思い、竹瀬会員組織常任委員長の了解を得て久保会長に頼みました。是非やって下さいと快諾を得まして秋ごろから始めました。三宅会長になっても更に続けさせて戴き先週申し上げましたとおり20回を超えました。その間何回か例会を休みましたので前年度は武本副委員長に今年度は一ノ瀬副委員長に助けて頂きました。

私たちのクラブで自慢できるものは色々ありますが私はなんと言っても山岡会員、中馬会員チャーターメンバーの存在とその行動であります。山岡さんは新入会員研修会、懇親会にも以前から絶対出席されている、私は感心してよく出られますねという山岡さんは「これは会員の義務です」といって淡々とされている。又中馬会員は皆さんご存じのように今年度チャーターメンバーであるのに副S A Aをしておられる、そして次年度はもっとしんどい親睦活動委員長をされる、お二人とも80歳を超えておられるのに本当に頭の下がる想いです。私も足腰は全く弱っていますが自分の出来ることでクラブのためにご奉仕させて頂かねば申し訳ない気持ちになりました。ですから次年度ガバナー補佐の猿丸さんからI Mの執行委員長をと言われた時も「こんな年寄りより若い優秀な人が沢山いらっしゃるでしょう」と心で思いながらも二つ返事で承諾しました。優秀な若手を付けていただいたら私でも出来るだろうと二人のチャーターメンバーに負けんように頑張ろうと思いました。

さてロータリーとは何か。「奉仕の実践に関する決議 34号」いわゆる23-34はロータリーの思想体系を整理したドキュメントでロータリアンの心の支えとなっています。23-34を読まずしてロータリーを語るなといわれています。異質な物の調和に先輩達は努力しました。例えば「親睦と奉仕」「利己と利他」「ロータリーとは自分のために益せんとする願望と他人に奉仕せんとする義務意識との間に絶えず生ずる葛藤を調和せしめんとする人生の哲学のことを言う」。この哲学こそ「超我の奉仕」 Service above self. であり、そして「奉仕に徹するものに最大の利益あり」 He profits most who service best. という実践論理原則をその根底に置くものである。簡単に言えば「ロータリーとは利己と利他の調和を図る人生の哲学である」ロータリークラブとはこの奉仕哲学

を信奉する代表的職業人のグループであるというに宜しい。そして利己と利他の調和を図る場所が毎週のクラブ例会なのです。ロータリーでは「実践だ」「行動」だという前にその心を作ることを最重要にしています。奉仕の心を耕し、夫々手造りの味を作る、そして家庭に職場に、地域社会に奉仕の心を適用していく一人一人の手のぬくもりが世の中に希望を与える。その実践の仕方はロータリーアン個人の問題です。

私も例会場に着きます。ニコニコとした顔の会員と明るく挨拶をします。テーブルを囲んで異業種の方と色々歓談をする。発想の違う意義ある話を聞かせていただく。又毎週得意分野で話される会長の時間は大変役に立ちます。欠席したときには翌週週報で読ませていただきます。そして会員の卓話を楽しみに聞かせていただきますが、これだけでも貴重な時間を割いて例会に来た値打ちがあります。「入って学び、」です。

例会に出れないときはメイキャップをしますが、メイキャップはロータリアンに与えられたすばらしい機会です。暖かい出会いがあり喜びがあります。「ロータリーの例会は人生の道場」といわれる所以です。ですから私はメイキャップする時途中退場はしません。逆に途中退場せねばならない時にはメイキャップしません。去年ロータリー一口メモの第一に例会出席を持ってきたのはこのためです。次にS A AとニコニコBOXについて話しました。ニコニコ浄財は何か喜びごとがあったり、させて戴きたいと思ったときに社会奉仕の浄財としてクラブに寄託するものです。私は体を動かして奉仕することが出来ませんので少しでもお役に立てばと例会出席したときには出来る限り協力させてもらおうと思っています。いずれにしても例会に出席することが楽しみでなければなりません。そしてその楽しみは自分で作っていくものと思っています。

この一口メモを年度末まで致しましてささやかな冊子にしまして皆様に差し上げることにしています。ご清聴有り難う御座いました。



(西岡 健)